

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 日南町の活性化について</p> <p>【公共交通】</p> <p>①夜間及び日曜日に運行されないタクシーをどのように捉えているか伺う。</p> <p>②町民からタクシーの運行改善を求める声が多数あるが改善策を伺う。</p> <p>③ドア・ツー・ドアの運行準備状況等を伺う。</p> <p>④バス、タクシーでたったもカードが利用出来るようにするべきでは。</p> <p>【教育】</p> <p>①教育長の考える「教育」を伺う。</p> <p>②「日南学」とは何か伺う。</p> <p>③学校給食を含め「食」についての考えを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>【公共交通】</p> <p>①過去にも事業者への要望を行ってきたが、ドライバーの確保や採算性の観点から困難であるという回答。重要な課題であると認識している。</p> <p>②移動手段の確保は非常に重要な課題。交通空白地有償運送等による移動手段の確保など、代替措置を検討していく。</p> <p>③8月から地域説明会を実施。広報誌では特集により周知。9月から運行受託事業者への操作・利用研修会やテスト運行を実施し、10月からのドア・ツー・ドア運行へむけ準備を進めている。</p> <p>④『たったもカード』はクラウドサーバ内でデータ管理しており、通信状況によっては決済ができない。解決策について引き続き導入事業者と検討を行っている。</p> <p>【教育】</p> <p>①日南町版「園・小・中一貫教育」を構築し、特に、非認知能力といわれる数値化できない能力を育成したい。現在、そのための研究実践をしている。これらを育成することにより、一生涯学び続ける力が付き、人生を豊かにすることができると思う。</p> <p>②「日南学」とは、日南町という地域を学びの対象、場、手段とする「地元学」である。町民が日南町の発展に積極的に貢献する人材を育成するのが目的である。</p> <p>③一生涯にわたって健康で生きていくためには、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることはとても大切である。従って、家庭や学校においても積極的に取り組む必要がある。</p>

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 地方創生の推進について</p> <p>①地方創生の推進には産業、文化、教育など日南町の魅力を向上させることが急務と考える。総合計画、総合戦略から具体的取り組みが見えないが、町長の考える地方創生と急がれる具体的取り組みを伺う。</p> <p>2. 農業の現状と課題解決の取り組みについて</p> <p>①社会情勢の予期せぬ変化による米価の下落。肥料や農薬、資材の高騰により、中核農家すら離農を検討する声が聞かれる。現状に対し、町長の認識を伺う。</p> <p>②農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想にも示されているが、一経営体が受け持つ面積が増えている。省力化、効率化に向けた設備の充実が必要となってくると考えられるが、現状把握に向けた考えを伺う。</p> <p>③獣害被害が農家の負担を増やし、やる気を減退させている現状の対策について伺う。</p> <p>④バイオ炭の取り組みが農業分野で初めてJ-クレジット制度の認証を受けた。 廃棄物である籾殻を燻炭にして土壌改良剤として田んぼに還元することで削減実績を販売し、経費の削減、収入の増加につながる取り組みについて見解を伺う。</p> <p>3. 日南町の教育について</p> <p>①ふるさと教育で各地域に出掛けいろいろな分野で勉強されているが、ガイド養成講座などを取り入れ実践することで、コミュニケーション能力の向上と郷土愛がより強くなる</p>	<p>1.</p> <p>①令和2年4月に第6次日南町総合計画を策定し、その実施計画という位置づけで第2期総合戦略を策定し、産業、移住定住などの推進項目を設定し推進している。企業連携による新たなまちづくりの可能性を検討するとともに、空き家、定住対策など人口減少を抑え、持続可能なまちづくりを目指していく。</p> <p>2.</p> <p>①混沌とする社会情勢の中、農業を取り巻く情勢は厳しさを増しているが、国県と連携しながら町も独自の支援を検討する。</p> <p>②設備の充実は図るうえで規模拡大は必須の条件であるが、地域の実情を踏まえて必要な支援を行う。</p> <p>③日野郡鳥獣被害対策協議会を中心に関係機関と連携しながら、集落全体で考える取り組みを支援していきたい。</p> <p>④もみ殻の燻炭やバイオ炭はみどりの食糧システムにも通ずる部分であるので、先進地の事例も参考にしながら活用を検討する。</p> <p>3.</p> <p>①子どもたちがガイドとなり、多くの人に学んだことを伝える活動は、知識だけでなく、表現力や実践力、コミュニケーション能力等が高まることも期待される。園、小・中学校、</p>

のではと考えるが。

②基礎学力の現状と一層の向上に向けた考えを伺う。

まなびや縁側それぞれで、実態に応じ、学習内容や方法を工夫してふるさと教育を実施しているが、活躍できる場が増えることは、子どもたちにとって望ましい。関係団体等と連携するなど、可能な形を検討していきたい。

②学力調査等の結果で比較すると、全国平均と同程度または下回る学年が多いが、学年による差が大きい。少人数のため、個人差が全体の結果に大きく影響していると考えられるが、解決すべき課題は大きいと考えている。学校教育において学力向上は常に中心的な課題であり、各学校でも継続的に取り組んでいる。知識や技能はもちろんのこと、学びに向かう力や思考力、判断力、表現力など、「生きる力」として必要な資質・能力をしっかりと育てていきたい。

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁要旨
<p>1. セントラル農場の環境問題について</p> <p>①農場の売却譲渡についての最新の状況といつ売却することを知られたのか伺う。</p> <p>②地域住民から町長に提出された陳情書について、どのように対応されるのか伺う。</p> <p>③「セントラルファーム汚水対策検討会」の実施状況と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>④5月末、6月末、7月末、8月末の飼育頭数を伺う。</p> <p>⑤令和3年度の水質検査費用で、農場に請求した合計金額、採取日と検体数を伺う。</p> <p>2. J-クレジット販売の今後について</p> <p>①森林組合から J-クレジットを 2000 t 購入する予定と 6 月の一般質問で答弁されたが、購入時期はいつ頃なのか。又、町有林の新規申請の状況を伺う。</p> <p>②町のホームページに日南町有林 J-クレジット売買契約一覧があるが、契約から登録迄と道の駅の無償譲渡の場合の登録迄の手順はどのように行われているのか伺う。</p> <p>③8月末で販売可能の残りの t 数はいくらになっているのか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①次の譲渡先に譲渡の契約が完了したと聞いた。売却方針については、6月21日の上原社長との面談で、初めて知った。</p> <p>②陳情の趣旨に基づき、今後対応を関係者と検討協議していく。</p> <p>③農場の改修・進捗管理をみながら、県と連携し開催について検討・協議していく。</p> <p>④5月末 7,388 頭、6月末 6,132 頭、7月末 4,697 頭、8月末 3,876 頭。</p> <p>⑤農場に請求した金額はない。ただし、臨時検査で、検査依頼したのは、令和4年1月27日実施の2検体で、50,600円。</p> <p>2.</p> <p>①9月補正後に購入を検討している。また、新規申請については令和5年度中を検討している。</p> <p>②売買契約後、無効化手続きを行っている。道の駅は、CO2 排出ゼロの道の駅のコンセプトに基づき、年間の CO2 排出量を計算したのちに、無効化手続きを行っている。</p> <p>③8月末で 537 トン。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 安倍元首相の国葬について ①9月27日に行われる予定の国葬に際し、庁舎や学校などで弔意を表すために半旗掲揚や黙とうを行うか。</p> <p>2. 統一協会について ①過去に町長や町職員が公人として統一協会（世界平和統一家庭連合）またはその関連団体が関わるイベントなどへ参加したり祝電などを送ったことがあるか。 ②今後、統一協会とその関連団体が関わるイベントなどへ町長や町職員が関与することはあるか。</p> <p>3. 難聴に関するアンケートについて ①昨年の12月定例会で、難聴に関するアンケートを今年度の高齢者ニーズ調査に盛り込むとの答弁があった。どのような内容のアンケートをいつ頃行う予定か。</p> <p>4. 給食費無償化について ①給食費無償化について総合教育会議で議論すると6月定例会で答弁があった。その後の進捗状況を問う。</p> <p>5. セントラルファーム鳥取農場について ①農場（森林開発地を含む）の現在の所有者を問う。 ②上原ファームとの話合いの状況を問う。</p>	<p>1. ①公的に行う予定はない。</p> <p>2. ①参加したり祝電などを送った事実は確認できず、関わりはないと思われる。 ②公的に関わることはない。</p> <p>3. ①全国で3年に1回実施される「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（高齢者ニーズ調査）」は先日、国から調査項目が示された。今後町で調査内容の検討を行い、今冬に調査を実施する予定。</p> <p>4. ①8月24日に総合教育会議が開催され、主に学校給食の無償化について意見交換を行った。保護者への経済的支援の現状、財源の問題、保護者の意見等について議論し、検討課題について整理した。今後は、保護者との意見交換、教育委員会での協議を行い、第2回総合教育会議で引き続き検討する予定である。</p> <p>5. ①次の譲渡先と思っている。 ②現所有者の責任や陳情に対しての話を行っ</p>

③今後の町の方針を問う。

6. ごみ処理施設の整備などについて

①西部広域行政管理組合の広報紙（令和4年6月発行）が新聞折込で一部の住民に配布された。市町村を通じて全戸配布すべきではなかったか。

②広報紙ではプラスチックごみの焼却とごみ発電が計画されていることや、プラスチック資源循環促進法について全く触れていない。住民に正確な情報を発信すべきではないか。

③7月に本格稼働する予定だった東部広域行政管理組合の新可燃物処理施設「リンピアいなば」が試運転時の事故によって半年以上稼働が遅れることになった。この事故は広域化の危険性を端的に示しているのではないか。

④日南町の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画見直しの状況を問う。

た。

③陳情の趣旨を踏まえながら、可能性を模索していく。

6.

①西部広域行政管理組合の議会で新聞折込と決定したことによるものである。今後、町の広報と配布できるよう検討を行う。

②広報誌では、次期一般廃棄物処理施設の進捗状況を周知したものである。

③薬液の誤投入で発電用ボイラーの配管が腐食し、関連機器の全交換が必要になったもので、広域化の危険性とは関係ない。

④プラスチックにかかる資源循環の促進等に関する法律の施行により、基本計画の一部見直しを検討している。

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 町内の新型コロナウイルス感染状況について</p> <p>①オミクロン株の第7波が全国的に猛威を振っているが日南町内の感染状況はどうなっているのか、情報の開示を。</p> <p>②抗原検査キットを全戸に配布することを提案するがどうか。</p> <p>③日南病院にPCR検査機器が導入されて1年。この間無料の検査も行われているが、全体の実績はどうなっているか問う。</p> <p>2. 物価高騰対策と米価について</p> <p>①物価高騰対策は法人・個人にかかわらず全ての事業者を対象にすべきだと考えるがどうか。</p> <p>②鳥取西部農協は今年の米価の概算金価格を公表していないが、2年連続の低米価が予想されている。価格補償対策を考えているか。</p> <p>3. バイオマス発電について</p> <p>①第2木材団地で稼働する予定であったバイオマス発電所は、当初の計画が破綻しているようである。現時点の情報公開と町民への説明を求める。</p> <p>4. 日南町公共交通確保対策協議会と日南交通のタクシー業務について</p>	<p>1.</p> <p>①7月以降の全国的感染拡大の中、鳥取県においても8月中旬以降1日あたり千人を超える感染状況が続いていた。本町でも感染者の確認が続いているが、最近は落ち着いている状況。なお、8月以降は「新規陽性者数」の情報が市町村別で鳥取県のホームページに掲載されている。</p> <p>②現在は、近くの店舗にて購入できるため、全戸配布は予定していない。</p> <p>③日南病院において実施したPCR検査は、令和4年8月末現在の累計で1,624件。</p> <p>2.</p> <p>①9月補正において、物価・燃料高騰により特に大きな影響を受けている運輸・交通事業者の事業継続を支援する補助金を交付する。今後も、町内の状況を把握し必要な支援を行っていく。農業への支援は、肥料・燃料高騰対策を検討している。</p> <p>②2年連続の低米価となった。価格補償対策は、価格自由競争社会の中で、根本的な解決にならない。関係者と協議しながら対応策を検討したい。</p> <p>3.</p> <p>①引き続き事業の再検討を行っている状況である。より実現可能な計画があれば協議も検討する。</p> <p>4.</p>

<p>①土日祝日に限らず、平日でも日南交通のタクシー運行状況については不満の声を聞く。民間企業の経営とはいえ、日南町の観光政策をすすめるためにも営業時間など町がもっとイニシアチブを発揮すべきではないか。</p> <p>②NPO法人「夢太陽」の利用者が、おでかけタクシーチケットを利用できないのは何故か。</p>	<p>①現状からの運行状況の改善は、ドライバーの確保、採算性の観点から困難であるという回答。町としても重要な課題であると認識している。代替措置を含め、検討が必要であると考える。</p> <p>②当該事業は、利用者に制限のない一般常用旅客自動車運送事業者の利用を対象としており、利用者に制限のある福祉有償運送事業者等は事業対象としていないため。</p>
---	---